

代表質問

### 若林 ひろき 議員 (公明)



中の施設等で行う予定だ。専用のコールセンターを開設し、接種に関する問合せ等に対応していく。

#### 健康施策について

【問】 しながら健康プラン21でも、ふだんの健康状態の把握、重症化予防の重要性を強調しているが、コロナ禍にあつてかかりつけ医等の重要性が大きく認識された。見解を。 【答】 かかりつけ医は、身近にいて頼りになる医師として、過去からの診療情報の蓄積による信頼性の高い診断等に加え、生活習慣に関する相談なども可能だ。医師会に委託しているかかりつけ医紹介事業を通じて、さらなる普及に努めていく。

#### 区政及び財政運営について

【問】 コロナ禍で物理的な距離の確保が求められる、他人の置かれている状況が見えにくく窮状が見通されおそれがある。孤立し困難を深める人を置き去りにしない目線を。

【答】 各種融資斡旋をはじめ、雇用確保や生活困窮者への支援等に取り組んでおり、今後も引き続き全ての人が安心して暮らすことができるよう、全力を挙げていく。

#### 新型コロナウイルス感染症について

【問】 ワクチンについて、会場・接種場所および会場に行けない人への対応、相談や問合せへの体制は。 【答】 システムの設計や会場確保など急ピッチで進めている。会場に向かない高齢者等については、入所

館の居室環境整備等を進めている。 【問】 地域福祉について 居住支援協議会を中心とした住宅確保要配慮者支援の拡充の取組と中長期のテーマは。 【答】 令和3年度より不動産団体と連携し、要配慮者に具体的な住宅情報を提供する。また、賃貸住宅オーナー等への協力金制度も開始する。

【問】 災害対策について 来年度防災ラジオをデジタル化対応するが、機能や配布・貸与対象、販売方法や導入スケジュールは。 【答】 令和3年度にデジタル波に対応した区独自の防災ラジオを制作し、前回購入者や高齢者等への周知を行い、令和4年度に販売を行う。

【問】 商店街・中小企業支援について 区内のある商店街で、独自の商店街危機管理ガイドラインを作成したが、区内商店街へ普及の考えは。 【答】 戸越銀座商店街連合会が作成した危機管理ガイドラインは、画期的な取組だ。区内の全ての商店街に配布し、活用いただいている。

【問】 環境対策について 再生可能エネルギーの積極的活用、省エネ・創エネを組み合わせたZEBなどの環境に配慮した建物の増加等、官民での対策の取組は。 【答】 再生可能エネルギーの積極的活用、省エネ・創エネを組み合わせたZEBなどの環境に配慮した建物の増加等、官民での対策の取組は。

【問】 教育について 文科大臣は、創造性を育む教育ーCT環境の実現に取り組んでいただきたいと、GIGAスクール構想についてメッセージを発している。区や教育委員会の取組は。 【答】 端末操作等の習熟とともに、GIGAスクール構想が狙いとする教育効果の実現を図っていく。

【問】 行政のデジタル化について 区でも既にAI等を活用しているが、デジタル技術の活用は情報部門だけでなく全ての部門が主体となる。業務効率化、サービス向上、地域課題解決へ腰を据えた取組を。 【答】 行政手続のオンライン化、マイナンバーカードの普及促進など、全庁的なデジタル化を推進していく。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会役員等の高齢化、担い手不足について、考えは。 【答】 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

【問】 町会・自治会支援について 町会・自治会活動活性化促進調査で、役員の見解や成功事例等を集約し、補助メニュー拡充に努める。

代表質問

### 大沢 真一 議員 (自・無)



#### 施政方針について

【問】 新型コロナウイルス禍において、区長が発揮すべきリーダーシップと発信の在り方について考えは。 【答】 区民の声をしっかりと聴き、状況を把握して、生活の安定に向けた支援について総合的で実効性のある施策を果敢かつ地道に行うことが区長に求められる。YouTubeやケーブルテレビなど、区長自身の言葉で伝えることができる動画の配信もさらに進めていく。

【問】 区としても保健所機能の強化に向けて、組織改正、医療職の確保、他部署からの職員の応援などの対応を進めているが、おのずと限界がある。外部リソースを活用すべきと考えるが、見解は。 【答】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

#### 健康施策について

【問】 しながら健康プラン21でも、ふだんの健康状態の把握、重症化予防の重要性を強調しているが、コロナ禍にあつてかかりつけ医等の重要性が大きく認識された。見解を。 【答】 かかりつけ医は、身近にいて頼りになる医師として、過去からの診療情報の蓄積による信頼性の高い診断等に加え、生活習慣に関する相談なども可能だ。医師会に委託しているかかりつけ医紹介事業を通じて、さらなる普及に努めていく。

#### 区政及び財政運営について

【問】 コロナ禍で物理的な距離の確保が求められる、他人の置かれている状況が見えにくく窮状が見通されおそれがある。孤立し困難を深める人を置き去りにしない目線を。

【答】 各種融資斡旋をはじめ、雇用確保や生活困窮者への支援等に取り組んでおり、今後も引き続き全ての人が安心して暮らすことができるよう、全力を挙げていく。

#### 新型コロナウイルス感染症について

【問】 ワクチンについて、会場・接種場所および会場に行けない人への対応、相談や問合せへの体制は。 【答】 システムの設計や会場確保など急ピッチで進めている。会場に向かない高齢者等については、入所

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

#### 健康施策について

【問】 しながら健康プラン21でも、ふだんの健康状態の把握、重症化予防の重要性を強調しているが、コロナ禍にあつてかかりつけ医等の重要性が大きく認識された。見解を。 【答】 かかりつけ医は、身近にいて頼りになる医師として、過去からの診療情報の蓄積による信頼性の高い診断等に加え、生活習慣に関する相談なども可能だ。医師会に委託しているかかりつけ医紹介事業を通じて、さらなる普及に努めていく。

#### 区政及び財政運営について

【問】 コロナ禍で物理的な距離の確保が求められる、他人の置かれている状況が見えにくく窮状が見通されおそれがある。孤立し困難を深める人を置き去りにしない目線を。

【答】 各種融資斡旋をはじめ、雇用確保や生活困窮者への支援等に取り組んでおり、今後も引き続き全ての人が安心して暮らすことができるよう、全力を挙げていく。

#### 新型コロナウイルス感染症について

【問】 ワクチンについて、会場・接種場所および会場に行けない人への対応、相談や問合せへの体制は。 【答】 システムの設計や会場確保など急ピッチで進めている。会場に向かない高齢者等については、入所

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

#### 健康施策について

【問】 しながら健康プラン21でも、ふだんの健康状態の把握、重症化予防の重要性を強調しているが、コロナ禍にあつてかかりつけ医等の重要性が大きく認識された。見解を。 【答】 かかりつけ医は、身近にいて頼りになる医師として、過去からの診療情報の蓄積による信頼性の高い診断等に加え、生活習慣に関する相談なども可能だ。医師会に委託しているかかりつけ医紹介事業を通じて、さらなる普及に努めていく。

#### 区政及び財政運営について

【問】 コロナ禍で物理的な距離の確保が求められる、他人の置かれている状況が見えにくく窮状が見通されおそれがある。孤立し困難を深める人を置き去りにしない目線を。

【答】 各種融資斡旋をはじめ、雇用確保や生活困窮者への支援等に取り組んでおり、今後も引き続き全ての人が安心して暮らすことができるよう、全力を挙げていく。

#### 新型コロナウイルス感染症について

【問】 ワクチンについて、会場・接種場所および会場に行けない人への対応、相談や問合せへの体制は。 【答】 システムの設計や会場確保など急ピッチで進めている。会場に向かない高齢者等については、入所

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に

【問】 検体や自宅療養者への食料品等の配送を民間業者に委託する等しており、今後も外部リソースを積極的に活用していく。 【問】 時短要請に協力した飲食店に対する都の支援策は一部から問題も指摘されるが、十分との認識か。 【答】 国や都において給付の迅速性などを優先する中で、対象業種や金額等を設定したものと認識している。 【問】 野村総合研究所が「シフト5削減」かつ「休業手当なし」の「実質的失業者」が少なくとも90万人にも上るとの推計を本年1月に発表している。経済的に困窮な状況に陥っている区民の状況について、定量・定性の両面からどのように現状を認識しているか。 【答】 1月末時点で緊急小口資金制度の利用が約3千9百人となっていることから、それ以上の方が生活に困窮されている可能性があると認識している。 【問】 今後さらに多くの区民が経済的な困難に直面する懸念がある。生活保護制度を必要とする方々が迅速に受給できるよう体制の整備が急務と考えるが、区の見解は。 【答】 相談窓口を記載した親しみやすいパンフレットを新たに区施設等に